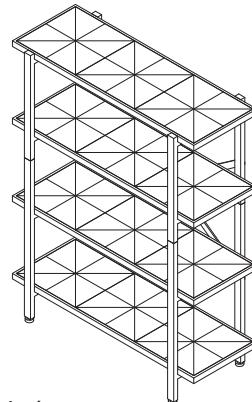


# KALEIDO

## 4段ラック 幅90

### 品番:KAOR-90-D4



【完成図】

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。  
ご使用前に、必ずこの説明書を最後までお読み頂き、正しい使い方で末永く  
ご使用下さい。

## ①注意事項

- 危険ですので、ラック以外の用途にご使用しないで下さい。
- 製品の上に、水気のものや熱を持ったものを直接置かないで下さい。
- 直射日光のあたる場所や、湿気の多い場所でのご使用は控えて下さい。  
変形・変色の恐れがございます。
- 小さなお子様には特に注意して下さい。商品の周囲で遊んでいて、  
商品にぶつかり転倒したりすると非常に危険です。  
角打ち等にも十分ご注意下さい。
- 水平な場所でご使用頂きますように、お願いします。
- 商品に偏った体重のかけ方をされると横転の危険があります。特に  
ご注意下さい。
- 組立ての際には床等が傷つかないように、布等を敷いた上で組立てして  
下さい。
- ご使用中にゆるみが出た場合は、各部分のボルト・ネジを確実に締め直  
して下さい。

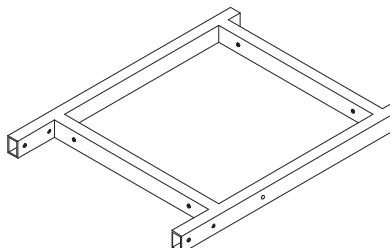
品質表示	
寸法	約 幅902x奥行370x高さ1150mm
素材	【棚板】パインの天然木と中質繊維板(ラッカーラッカー塗装) 【脚/フレーム】スチールパイプ(粉体塗装)
生産国	中国
表示者	株式会社B.Bファニシング 大阪府堺市東区丈六171-37 ユニイマニシビル2F TEL:072-230-3334

## 組立説明書

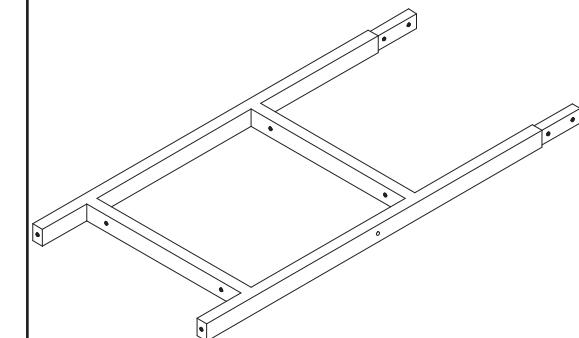
### 部材

※組立前に、以下の部材が揃っているか必ずご確認下さい。

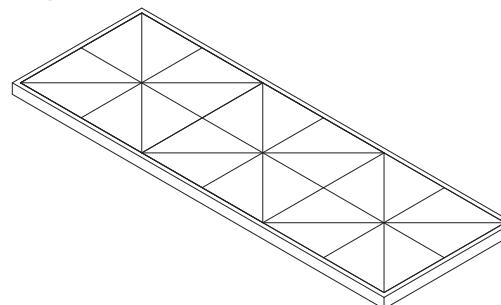
①上フレーム:2個



②下フレーム:2個



③棚板:4枚



④クロスバー:2本



### 部品

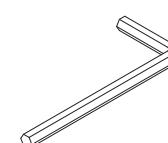
※組立前に、以下の部品が揃っているか必ずご確認下さい。

Aボルト:17本(1本は予備)

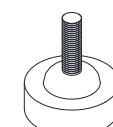


M6x35mm

B六角レンチ:1本



Cアジャスター:4個



Dボルト:5本



M6x20mm

Eナット:1個

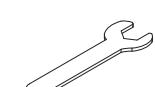


Fボルト:8本



M6x15mm

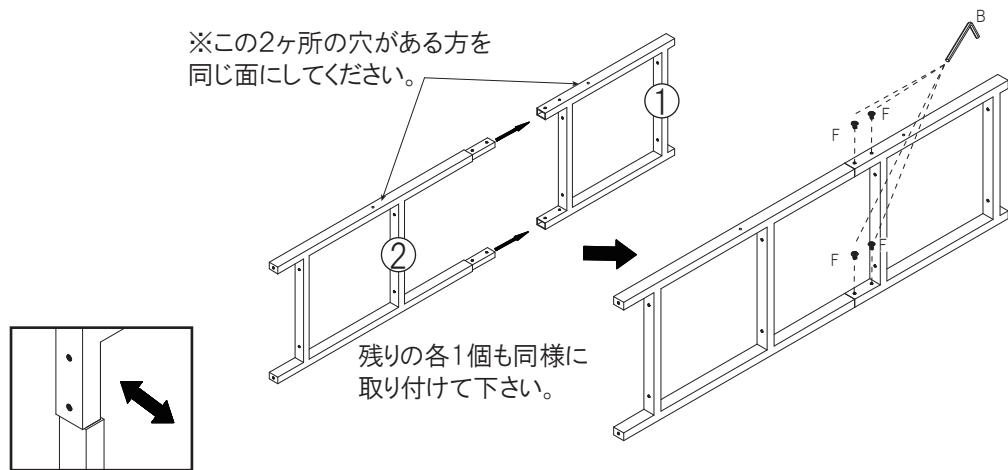
Gスパナ:1本



**1**

組立する前に、組立時に床などが傷つかないように、毛布や段ボールなどの上で組立を行うように、  
お願い致します。

②下フレームを下記の左のイラストのように、①上フレームに挿し込んでください。次に、下記の右  
のイラストの様に、FボルトとB六角レンチで、①上フレームと②下フレームを取り付けてください。



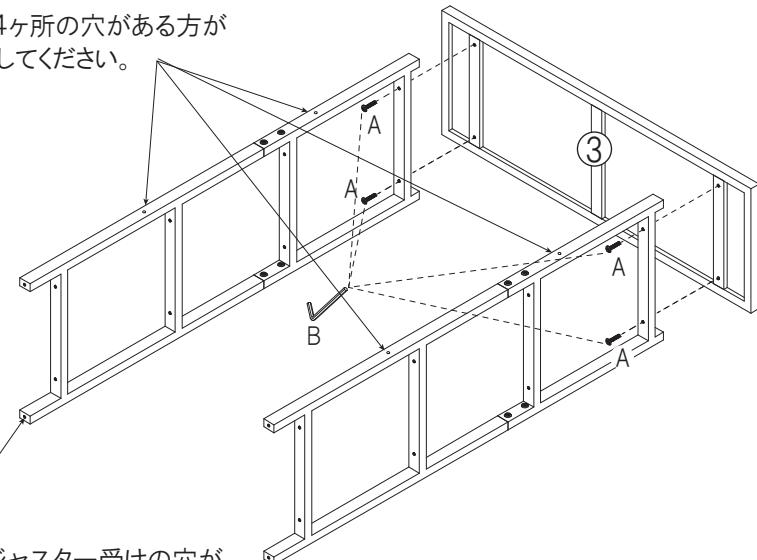
①上フレームと、②下フレームはスムーズに挿し込みができるように、若干のあそびの隙間が  
ありますので、上下のフレームが出来るだけまっすぐにるようにしてからFボルトで固定してください。

**2**

下記イラストの様に、  
で組立てたフレームと③棚板をAボルトとB六角レンチ  
を使用して、取り付けて下さい。

※Aボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

※この4ヶ所の穴がある方が  
上面にしてください。

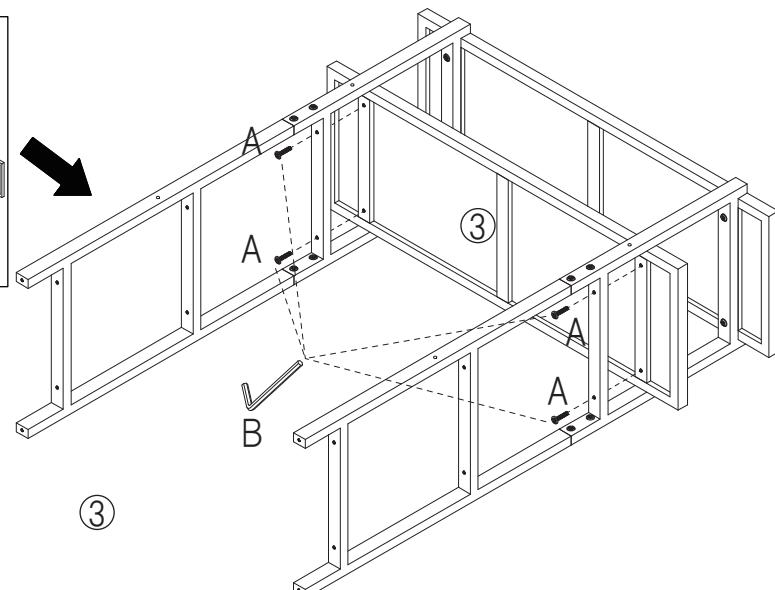
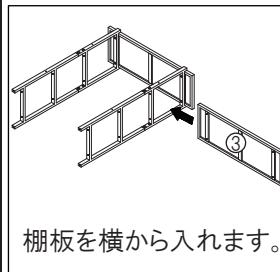


※フレームの足先にアジャスター受けの穴が  
付いています、組立て時に、フレームの向きにご注意ください。

**3**

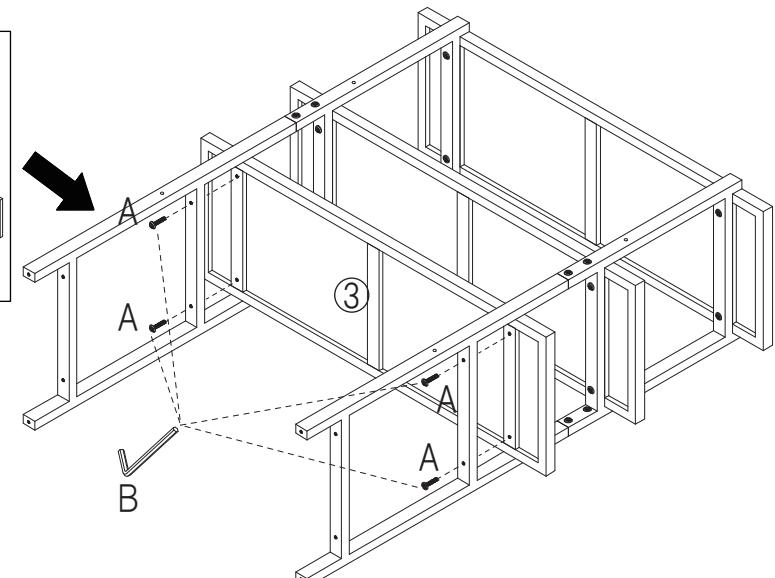
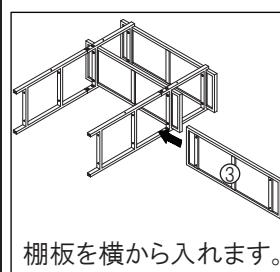
②で組立てた部材を、下記イラストの様に、③棚板を横から入れて、Aボルトと  
B六角レンチを使用して、取り付けて下さい。

※Aボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

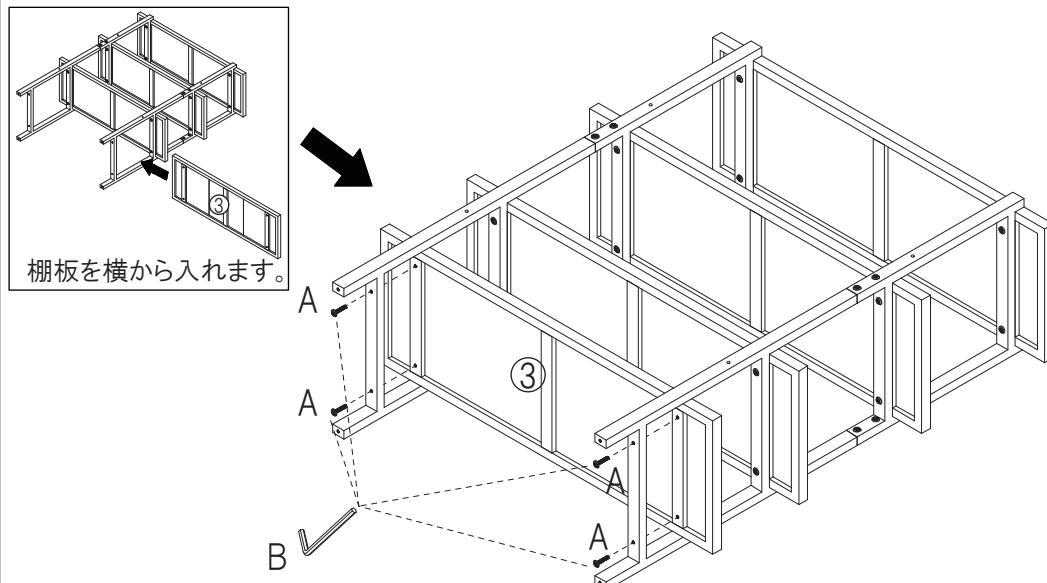
**4**

③で組立てた部材を、下記イラストの様に、③棚板を横から入れて、Aボルトと  
B六角レンチを使用して、取り付けて下さい。

※Aボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

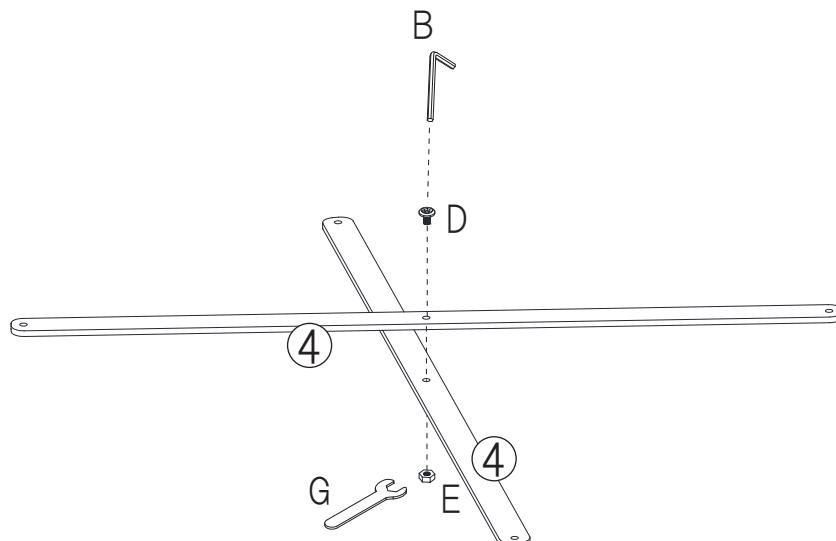


**5** **4**で組立てた部材を、下記イラストの様に、③棚板を横から入れて、AボルトとB六角レンチを使用して、取り付けて下さい。  
※Aボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

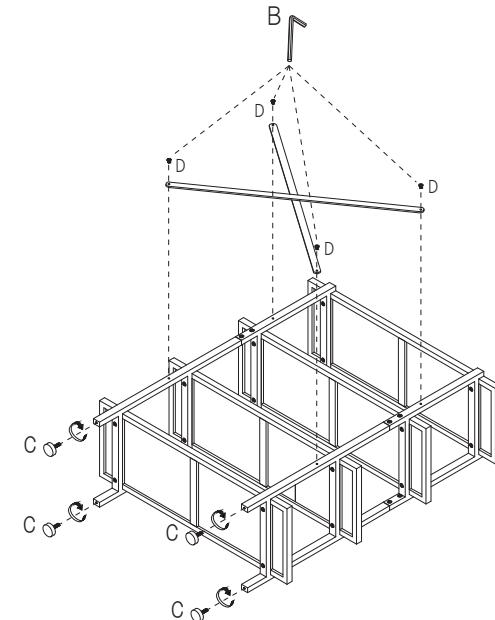


**6** ④クロスバー2本を、下記のイラストの様に、DボルトとEナットをB六角レンチと、Gスパナを使って取り付けて下さい。

※Dボルトは、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。



**7** **6**で組立てた部材を、下記イラストの様に、**5**で組立てた部材に、DボルトとB六角レンチで取り付けて下さい。次に、Cアジャスターをフレームの脚に取り付けて下さい。



**8** **2**、**3**、**4**、**5**、**6**で仮止めになっていた、各ボルトをB六角レンチとGスパナを使って最後まで締めて下さい。次に商品をゆっくりと起こして下さい。  
これで完成です。

※ご使用になる場所や、組立の仕方によって、少しガタツキが発生する場合がありますが、Cアジャスターを回して高さを微調整して頂くと、直ります。

